

●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2184 回 例会 記録

《納涼昼例会》

2021 年 8 月 26 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1616



大橋 SAA



《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。本日の例会は、夜例会の納涼家族例会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえまして、昼の例会に急遽変更し、昼食はお弁当をお持ち帰りいただく短縮例会とさせていただきます。また本日は、南風会のゴルフが開催されておりますので、パークホテルの例会場とゴルフとのハイブリッド例会という形です。9 月以降の例会のあり方については、みなさんからの意見を頂戴し、決めていきたいと思っています。

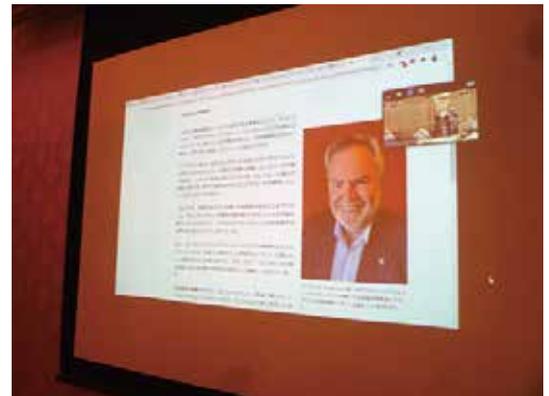
さて、マイロータリーの記事からひとつご紹介いたします。2023 - 24 年度の国際ロータリー会長の指名委員会が行われ、スコットランド、サウスクイーンズフェリー・ロータリークラブ会員のゴードン R. マッキナリー氏が選出されたということです。マッキナリー氏は、新型コロナウイルス流行の中でテクノロジーを取り入れたロータリーの適応力を高く評価。ロータリーが今後も成長し、人びとの参加を促していくには、ロータリーの過去の慣習の最も良い部分と組み合わせるこのアプローチを継続していくべきだと述べています。また、オンラインでのシニアリーダーとクラブの直接的なコミュニケーションは、好ましい変化として今後もロータリーに残していく必要があるとも述べました。その一方で、「より多くの交流を促進するには対面での会合も依然として重要」と加えています。対抗候補者が出ない場合、10 月 1 日に会長ノミネーとして宣言されるということです。

今回の国際ロータリー会長指名委員会のメンバーとして、当クラブの黒田会員がご出席されました。後ほど、黒田会員より、お話を頂戴いたします。

インターネット、IT に強い会員もクラブにおられます。みなさんのお知恵をお借りして、社会の変化に柔軟に対応できるクラブ運営のカタチ作りを進めていきたいと思っています。

《出席報告》米内副委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 20 名。出席率は 74.1%です。



《幹事報告》慶徳幹事

- ・今年度の RLI は例年秋に行われていましたが、コロナの影響で年が明けてから今年度中に行うという連絡が来ています。
- ・日本のロータリー 100 周年誌の追加注文を受けますのでご希望の方は事務局まで。
- ・米山梅吉記念館より館報が届いています。
- ・青森県下北大雨災害の支援を来週から集めます、熱海の災害支援は今日迄ですのでよろしくお祈りします。
- ・例会変更のお知らせ、八戸 RC 9 月 1 2 日迄ハイブリット例会で食事は弁当持ち帰り、八戸東 RC 8 月 27 日 (金) から 9 月 1 0 日 (金) 迄例会取りやめ、メーキャップは受け付けます。八戸北 RC 9 月 1 2 日迄短縮バージョンで弁当持ち帰り、夜例会は昼に変更、八戸中央 RC、弁当持ち帰り例会に変更。



《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：今日は納涼昼例会です、よろしくお祈りします。

慶徳幹事：今日はイレギュラーの例会ですが、皆さんよろしくお祈りします。

小原会員：平光さん、写真ありがとうございます。

伊藤会員：写真ありがとうございます。



《RI会長ノミニー指名委員会(オンライン会議)に参加して》

指名委員 黒田正宏



先程、会長がおっしゃったようにRI 会長ノミニーの指名委員に選ばれてズームを使ったオンラインに参加しました。7月15日からメール会議、8月2・3・4・5日のズーム会議で指名委員会が開かれましたので簡単にアウトラインだけ皆さんにお話したいと思います。

どうして私が選ばれたかという今年度は国際ロータリーの奇数ゾーンから委員を選ぶことになっていて、私はゾーン1A(日本の北方地域、北海道、東北、新潟、栃木)とゾーン1B(インドネシア、バングラデシュ、パキスタン)から1名選ばれる委員として17名の委員の一人として選ばれました。

RIから「1Aから出なければ1Bから出ますが、黒田元理事は出られますか」と連絡がありました。1Aには他の方がおられるのではと思っていましたが、私の後に理事になられた北さんはゾーン編成によって第2ゾーンの方へ移動しました。そのあとの石黒元理事は2年目の1年間を病気で半分は欠席し、理事会に出ていないので資格が無くなりました。今は元気になられています。指名委員の条件は理事2年間を全うして、最近5年間の国際大会に参加という大変厳しいものです。それなので私が受けなければゾーン1Bのインドネシアとかバングラデシュの方に行ってしまうということでした。今受けなければ向こう5年間は1Aから指名委員を出すことが出来なくなるので、オンラインでの会議でアメリカに行かなくても良いということでお受けしました。指名委員は2年ごとに奇数ゾーンと偶数ゾーンから交互に選ぶことになっています。

会長ノミニーの候補者も、元理事で最近の国際大会に5年以上は出ていること、という非常に厳しい条件があるのでそんなに候補者がいないだろうと思ったら、12名が世界から出てきてびっくりしました。この12名の候補者の写真、ロータリーと仕事歴、最近の国際ロータリーの重要課題に対する候補者の考えや具体的な解決方法。立候補した理由、ロータリーへのビジョンなどが書かれた書類がメール添付でどんどん送られてきました。それ全部に目を通さなければなりません、メールで来ているので自分の都合の良い時間に見ることが出来るので助かりました。

次に12名全員を候補者として討議するのは大変なので6名に絞るため投票してくださいとのメールがあり投票しました。指名委員会の委員長と幹事も

指名委員のメール投票で決め、絞られた6人に対して一人当たり1時間をかけていろいろ質問しその回答の内容を指名委員同士で話し合います。その質問を委員長が司会をして、候補者への8つの質問文を作成し、それぞれの質問者を決めました。各国語(スペイン、ポルトガル、仏、独逸、日本、韓国)が英語に通訳されるので日本語で大丈夫です。1日3人なので3時間、アメリカのエバンストンに合わせているので日本時間では夜中の10時から午前1時までです。日本にとってはとてもつらい時間で、それが8月2日から5日までずっと続きました。オンラインでどんどん進みますから油断できません。集中力を保たなければいけないし、トイレに行くにも、トイレ休憩が5分間あるだけで3時間頑張らなければなりません。次の日は残りの3人、3時間頑張らなければなりません。さすがに疲れました。

電子投票ですが投票記入用紙は普段使っているパソコンのアドレスではなく、別なアドレスを届け出て、投票用紙は新しいアドレスでスマホに送られてくるということであわててしまいました。そのような投票をしたことがなかったし、ちょっとでもつまずくと投票時間に間に合わなくなってしまうと思い吉田立盛さんにアドバイスを求めたところ、吉田さんは気持ちよく日中来てアドバイスをしてくれました。夜までこのまま居ても良いですよと言ってくれましたが、それは申し訳ないので帰っていただきました。ここまでくれば私も安心だからと自信をもって、困ってもあちこち触らないようにして夜10時の本番の投票に臨みました。ところが私に投票用紙が来ないので慌ててしまって吉田さんに電話したところ、立盛さんは心配だったのでいつでも行ける体制で待っていてくれて、すぐに来てくれました。立盛さんが着く前に問題点が分かって解決したのですが、私がRI事務局に本部事務局の通訳を通して伝えたアドレスが技術者に伝わっていなかったのです。それが分かって再確認したところ技術者が入力していなかったということで、入力してもらいやっと私の所に投票用紙が届きました。時間にするとちょっとの時間で他の委員が考えている間でしたが、英文メールを読み、チェックして返信が終わったところに立盛さんが来てくれました。終了後に通訳者から確認してなかったという、お詫びのメールが届きました。日中の吉田さんのアドバイスがあったからこそ、冷静に対応できて、助かったと感謝しています。この時は、ロータリークラブ会員は異業種からなり、年齢も多様であることに助けられたとしみじみ実感しました。

集計結果は画面に出ますが5秒間しか表示されませんが、それを書き写すのですが6名から4名、2名、最後は1名となり、しかも10票以上を取るまで、委員による討論と投票が繰り返されました。その間に幹事の通信不通や委員の通信不安定などあって緊張感が高まりました。最終的にゴードン・マキナリー氏(スコットランド)を選出し、委員全員が一言ずつゴードン氏にお祝いを述べて終わりました。

どういう質問を私たちが候補者たちに投げかけたか、皆さんにロータリーの今の問題点を知るうえで聞いていただきたいと思います。

全候補者への指名委員からの質問内容は

- ①「ロータリーで、貴方は会長として、ガバナンス（RI 本部の統治）を改善するために、具体的に何をを行いますか？」
- ②「ロータリーは DEI つまり多様性、公正さ、インクルージョン（どなたでも迎える）を強調していますが、明確さが不足しているように感じられます。あなたは会長として、世界中のロータリアンにこれをどのように推進していきますか？」
- ③世界のクラブと地区は戦略計画の重要性を認識しています。しかし、実践的な適用率は大きく下回ります。あなたはどのように奨励しますか？」
- ④「国際ロータリーの運営費は上昇しています。一方で会員は減少しています。人頭分担金の値上げだけでは賄うことは出来ません。この問題を、あなたはどのように、効果的に解決していきますか？」
- ⑤「あなたがロータリーに必要なと思う変化は何ですか？」
- ⑥国や地域での会員が減少しています。その原因と具体的な対策は何ですか？単に女性や若い人に入会をはたらきかけるという意味ではなく、他の観点から説明してください」
- ⑦「ロータリーの未来において最大のリスクは何だとおもいますか？」
- ⑧「コロナ禍の影響はすぐにはなくならないと思われます。今後数年間ロータリーはどのように成長し、活動を実践していくべきと考えますか？」

この様に皆さんが思っているより身近な問題を投げかけているということをお知らせして終わりにいたします。

《今後の例会について》慶徳幹事

先程各クラブの例会についてご説明させていただきましたけれども、当クラブの9月からの例会につきましてどのようにしたらよいか、ご出席の皆さんからご意見を頂戴したいと思います。（出席会員全員発言）基本的に皆さん飲食は会場ではないということですので、開催するにあたっては、お弁当持ち帰り短縮バージョンという形で例会を進めさせていただきたいと思いますが、日々状況が変わってくると思いますので、今後緊急事態宣言、蔓延防止法などが発令された場合は、改めて理事会で対応させていただきますことにごさせて致します。



南風会に参加の皆さん